

一房のぶどう



第30号

平成26年3月15日 編集・発行／あきる野市教育委員会
〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

平成26年4月から 小中一貫教育がスタート します



※写真は、増戸小・中学校の
吹奏楽交流活動風景
詳細は、2面を
ご覧ください。

黄金のトライアングル

教育委員長 山城清邦

「教育」の世界は、つねに古くて新しい問題に直面しています。また、だれしも教育については、一言持っています。ですから人々の関心も高く、つねに注目の的となつていきます。しかし、個々人が、自分自身と教育との関係についてそれを語り切ることはなかなか難しいこととなります。しかも、ともすれば、児童や生徒のことになると学校や社会に責任を負わせることになりがちです。ところが、よくよく考えて見れば、家庭と学校と地域と、その三者が力を出し合つて、はじめて教育は成り立つものです。これは「黄金のトライアングル」とでも呼ばれるべき関係であると思います。

あきる野市教育委員会は、時代に対応し、あるいは時代を先取りする施策を展開してきました。それらは市の教育基本計画に基づくもので、平成二十三年度から二十五年までの三年間、十二の項目を重点施策として実施してきました。来年度からはその第二次計画として三十二年度までの基本計画を市民のみなさまに提示することとなっております。これからの時代の動きをできる限り想定し、そのための施策を体系化しようとするものです。

第二次計画においても「人が育ち 人が輝く あきる野の教育」という基本的理念と「おとなが手本のあきる野市」という提唱は継続してまいります。家庭における、地域における、そして学校におけるおとなの姿。おとなは、意識しているか否かにかかわらず、子どもに影響を与えています。そのことについて私たちはより一層自覚的である必要があります。日本の未来を託さなければならぬ次世代の人びとに、私たちはできる限りのことをしていく使命があります。教育委員会はそのために力を尽くしてまいりますので、市民のみなさまもぜひともご理解をお願いいたします。